

COLLECTIONS 代表的なコレクション



範田寛治《機織の家族》1928年 油彩・キャンパス



辻晋堂《拾得》1958年 陶彫



曾根彦《神倉秋景》1962年 紙本着色



やなぎみわ《My Grandmothers MOEHA》2009年 発色現像方式印刷 ©Miwa Yanagi

収集方針 1. 鳥取県の実物 2. 国内外の優れた美術 3. 同時代の美術の動向を示す作品

ご利用案内 | INFORMATION

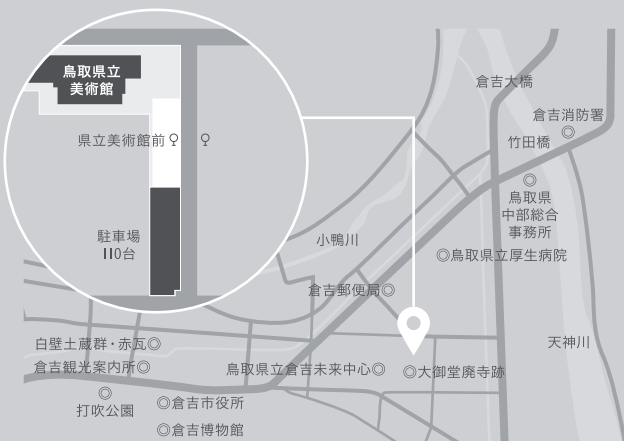
開館時間 9:00 ～ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)ほか
※月曜日が祝日の場合は翌平日を休館日とします。
※休館日は変更となる場合があります。

観覧料 企画展 展覧会ごとに異なります。
コレクション展 一般400円(団体320円)
学生・70歳以上200円
高校生以下無料

※未就学児、障がいのある方、要介護者等及びその介護者は無料

アクセス | ACCESS



- 倉吉駅まで 大阪駅からJR特急で約3時間
岡山駅からJR特急で約2時間40分
鳥取砂丘コナン空港からバスで約45分
米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分
- 倉吉駅から バスで約10分、タクシーで約9分
- 車をご利用の場合 岡山・広島方面 米子道 湯原ICから約50分
大阪方面 中国自動車道 院庄ICから約1時間

鳥取県立美術館

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12
TEL 0858-24-5442(代表) FAX 0858-24-1441
Mail info@tottori-moa.jp <https://tottori-moa.jp>



展覧会 スケジュール

2025.03 - 2026.03

OPENNESS!

2025年3月30日 開館



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

展覧会スケジュール 2025.03 - 2026.03

※未就学児、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びその介護者は無料
 ※企画展の一般料金には70歳以上も含む

企画展 | 1 |

アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 ～若冲からウォーホル、リヒターへ～

江戸/現代、日本/世界の広がりをもつ当館コレクションの特徴を交えながら若冲以降の各時代を代表する名品約180点を一堂に展示。古来より美術の重要なテーマであった「何が“リアル”か」という問いをめぐる挑戦の軌跡を時代・ジャンルを超えてご紹介し、鳥取県立美術館でしか体験できないアートとの出会いを創出します。



アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》1968年
 鳥取県立美術館蔵
 © 2024 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G3600

企画展 | 2 |

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～

現代の日本人に妖怪文化を根付かせた漫画家・水木しげるが、どのように妖怪と向き合い描いてきたのか、具体的手法に注目した展覧会です。水木所蔵の妖怪関係資料を初公開すると共に、百鬼夜行の名にふさわしく、妖怪画100点以上を一挙に公開します。



© 水木プロダクション

企画展 | 3 |

めでたし うるわし ときにいさまし!? The 花鳥画 —日本美術といきものたち—

日本の絵画・工芸作品には、花や鳥、動物、昆虫や魚など、様々な動植物が登場します。時に可愛く、時に華麗で、時に勇壮—。江戸時代の多彩な「花鳥画」作品を中心に、人々がいきものたちに見出した美の諸相をご紹介します。



鳥田元旦「花鳥図押絵貼屏風(部分)」天保2(1831)年
 鳥取県立博物館蔵

企画展 | 4 |

CONNEXIONS コネクションズ —接続するアーティストたち—

分断が深刻化する時代に、異なる領域やさまざまな文化を結びつけ、未知の世界と接続し、新たな「つながり」を作り出すことで美術表現を更新する気鋭のアーティストたちを招聘。作品を通じて未来の社会の姿、その有り様を展望することを試みます。



mamoru | Szczecin(ポーランド)でのワークショップの様子
 2024年5月15日

2025年3月30日[日]～6月15日[日]

休館日 月曜日(3/31、4/28、5/5は開館)
 ※夜間開館日(5/3[土]、6/14[土])は21:00まで

観覧料 (団体・前売)	一般1600円(1250円) 学生1000円(800円) 高校生500円(400円) 小中学生300円(240円)
----------------	--

2025年7月19日[土]～8月31日[日]

休館日 月曜日(7/21、8/11は開館)、7/22[火]
 ※夜間開館日(7/19[土]・20[日]、8/9[土]・10[日]・30[土]・31[日])は21:00まで

観覧料 (団体・前売)	一般1500円(1200円) 学生950円(750円) 高校生500円(400円) 小中学生300円(240円)
----------------	---

2025年10月11日[土]～11月24日[月・祝]

休館日 月曜日(10/13、11/3、11/24は開館)10/14[火]、11/4[火]
 閉室日 11/5[水](美術館は開館)

観覧料 (団体・前売)	一般1200円(950円) 学生750円(600円) 高校生500円(400円) 小中学生300円(240円)
----------------	--

2026年2月7日[土]～3月22日[日]

休館日 月曜日(2/23は開館)、2/24[火]

観覧料 (団体・前売)	一般1200円(950円) 学生750円(600円) 高校生500円(400円) 小中学生300円(240円)
----------------	--

2025年															2026年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
企画展示室						「水木しげるの妖怪百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～」 (7/19-8/31)			「めでたし うるわし ときにいさまし!? The 花鳥画 —日本美術といきものたち—」 (10/11-11/24)				「CONNEXIONS コネクションズ —接続するアーティストたち—」 (2/7-3/22)					
コレクションギャラリー(常設展示室)	1	「アート・オブ・ザ・リアル時代を超える美術 ～若冲からウォーホル、リヒターへ～」 ※ブリロ・ボックス展示 (3/30-6/15)				「特集:現代美術」 ※ブリロ・ボックス展示 (6/28-8/31)		「A.L.L.presents あーとのとびらをひらく展覧会シリーズ01 小松宏誠展 光と影のモビール けしきと歌」 (9/20-11/9)			「鳥取県アートミュージアム連携協議会 共同企画展 ～各加盟館の代表的コレクションを中心に」 (11/26-1/12)		「特集:砂の光景」 (1/24-4/5)					
	2					「戦後80年 鳥取県の美術家と戦争」 (6/28-8/31)					「前田寛治とその周辺」 (11/26-1/12)							
	3	「辻堂の世界01」 「絢織の美」 (3/30-5/18)			「辻堂の世界02」 「アジアの染織01 岡村コレクションから」 (5/27-7/27)			「辻堂の世界03」 「アジアの染織02 岡村コレクションから」 ※ブリロ・ボックス展示 (8/5-9/28)			「現代の彫刻—新しい表現を創造するアーティストたち01」 「近世・近代の陶芸」 ※ブリロ・ボックス展示 (12/16-2/11)			「現代の彫刻—新しい表現を創造するアーティストたち02」 「現代の陶芸」 ※ブリロ・ボックス展示 (2/21-4/19)				
	4	「鳥取県の写真と版画01」 (3/30-5/25)			「鳥取県の写真と版画02」 (6/3-7/27)			「岡村吉右衛門の 型染め版画」 (8/5-9/7)			「垣田堅二郎コレクション②」 「写真コレクションより:かたち」 (12/16-2/11)			「前田寛治の素描」 (2/21-4/19)				
	5	「因伯の画家たち—近世絵画編」 (3/30-5/25)			「因伯の画家たち—近現代日本画編」 (6/3-7/27)			「没後70年 日本画家・中島菜刀(前編)」 (8/5-9/28)			「没後70年 日本画家・中島菜刀(後編)」 (10/9-12/7)			「花の大御堂の美術館」 (2/21-4/19)				

※会期・展示内容は変更となる場合があります。最新情報は当館ウェブサイトでご確認ください。